



# 『壬生藩の特産物 —描かれた干瓢と牛蒡—』展

会期：2月8日(土)－3月30日(日)

当歴史民俗資料館では、2月8日(土)から3月30日(日)まで『壬生藩の特産物—描かれた干瓢と牛蒡—』展を開催します。

今年は大阪の夢洲で、世界の祭典・日本国際博覧会『大阪・関西万博』が、4月13日(日)より184日間開かれます。この万博では、『EARTH FOODS 25』と題して、食の未来をよりよくするため世界に共有したい日本初の食リストを紹介しており、そのなかに壬生とゆかりのある「かんぴょう」が選出されました。

壬生では、江戸時代に壬生藩鳥居家初代・鳥居忠英が干瓢を取り寄せ栽培を奨励した「栃木県産かんぴょうの祖」伝説が残ります。また、“稲葉牛蒡”は太くて風味もよく、将軍への献上品のひとつでした。どちらも錦絵に度々取り上げられることから、当時の人々の暮らしのそばに存在した風物詩であったことが感じられます。

今回は、世界に誇る壬生の特産物“干瓢”と“牛蒡”の絵画を中心に紹介します。『大阪・関西万博』に向けて、特産物が生み出される一場面をぜひこの機会にご覧ください。

## ギャラリートーク

- 日 時 2月15日(土)  
3月22日(土)  
各日午後2時～
- 集合場所 テーマ展会場入口  
※事前申込不要。参加費無料

- 休 館 日 月曜日と祝祭日
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 入 館 料 無料
- ◎問 合 せ 歴史民俗資料館学芸係  
☎(82)8544